『みんなのねがい』を読むには…

●一人から始める
個人年間購読を申し込んでいただければ郵送でお届けします。

『みんなのねがい』購読料	
書店注文	1冊 定価715円（本体650円＋税）
個人購読	年間9,400円（税・送料含）

●みんなで読めば
2冊以上まとめれば、「まとめ購読」。まとめ価格で送料無料でお届けします。そのほかの全障研出版部の本も、送料無料ですぐにお届けします。

●書店、セブンイレブンでも
書店やセブンイレブンで申し込めば、毎月（16日発売）お店で受けとることができます。お申し込みに必要な雑誌コード番号は「０８４４１」です。

●見本誌無料で送ります
「どうしようかなあ」と迷っているあなた、「どんな本か手にとって見てみたい」という人はまず見本誌を請求してください。

お申込・お問い合わせは

全障研出版部
電話　03-5285-2601
FAX　03-5285-2603
〒169-0051
新宿区西早稲田２－１５－１０　西早稲田関口ビル４Ｆ
ホームページ　www.nginet.or.jp

出版部注文メールはこちら！

購読申込用紙

お名前（ふりがな）	送り先ご住所　〒 お電話

①みんなのねがい（　　）月号から　個人年間購読を申し込みます
②みんなのねがい（　　）月号から　まとめ購読（　　）冊を申し込みます

見本誌をお送りする方

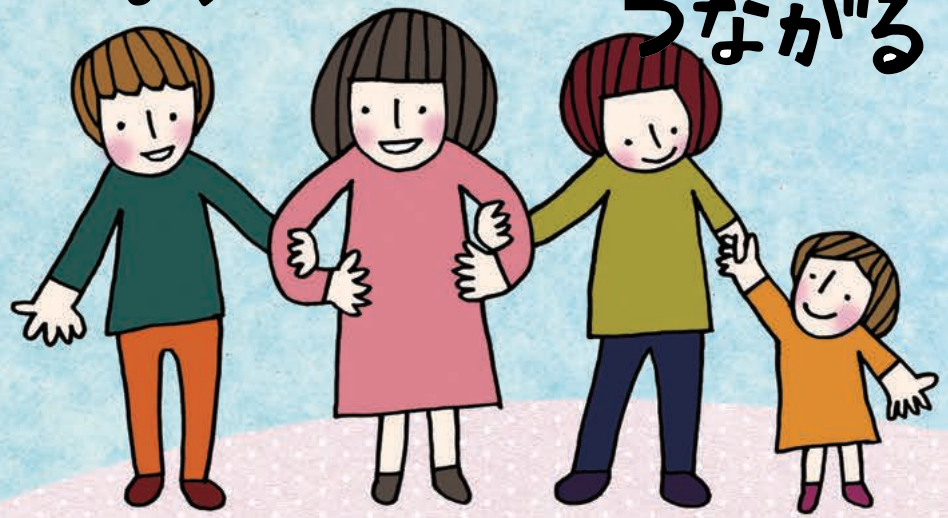
お名前　　お電話
ご住所

ご紹介者のお名前　　お電話

障害者の権利を守り、発達を保障するために

みんなのねがい 2021

あなたとわたしを **つなぐ**
実践と学びを **つなげる**
あの子・あの人の笑顔に **つながる**



1970年に創刊された『みんなのねがい』には障害のある人やその家族、実践者など、さまざまな人のねがいや希望、ときには、心の葛藤がつまっています。あなたの生活にそっと寄り添う、やさしくあたたかみのある一冊でありたいと思っています。
塚田直也（『みんなのねがい』編集長）

全国障害者問題研究会

連載者に聞く！

2021年『みんなのねがい』の読みどころ

『みんなのねがい』は障害児教育、福祉、家族のねがいがつまった障害者問題の月刊誌。
読みやすくてやさしい、そして障害のある人や子どもたち、家族、関係者をつなぐ雑誌です。

教育実践

川地亜弥子さん（神戸大学）
「ねがいひろがる教育実践」

教育や療育に関わる人に、必要なものってなんでしょう…？　いろいろありますが、私のイチオシは、**「突き抜けた楽天性」**。日々の実践は、うまくいくことばかりではありません。しんどいこともいっぱいありますよね…。でも、**「次はこうしてみよう！」と思えるような、「ねがい」がひろがる瞬間があるはず。**そこをみなさんと一緒に考えていきます！

福祉 高齢期

張貞京さん（京都文教短期大学）
「人とつむぎ、織りなす日々のなかで～高齢期の発達」

高齢期と言われれば、衰えや喪失など否定的な印象をもち、支援の必要性ばかりが高まっていくと感じていませんか？　障害の有無に関わらず支援が必要となるのは事実ですが、**衰えや喪失があるからこそ、それまでとは異なる日々のつむぎ方が見えてきます。**知的障害のある人たちが高齢期と向き合い、新しい意味を見出していく歩みから、**高齢期の発達と支援のあり方を考えていきます。**

発達を学ぶ

小渕隆司さん（北海道教育大学）
「わたしとあなた、そしてみんな～子どもの発達と集団」

子どもは、日々生活の中で様々な活動をしています。子どもや私たちも自分ひとりだけで生活をすることはむずかしく、周囲の世界（まわりにあるモノや人）とやりとりをしながら生活をしています。**私たちが人間らしく育つ上で、「個人」と「集団」の関わりやその育ちは、とても重要になります。**障害のある子どもが「集団参加や一緒に活動することがむずかしい」「みんなと一緒に集団に参加するにはどうしたらいいか」という問いは、「個人が集団にどのように参加するか」といった子どもの側からだけでは考えることはできません。連載では、**一緒に活動したくなる、居心地がよくて安心できる人間らしい集団の育ち、「仲間集団の発達」について、実践や事例を通して考えたいと思います。**

あの人に聞きたい
平和のこと、いのちのこと
インタビュー

「伝えること、生きること」

坂上香さん（ドキュメンタリー映画監督）
犯罪者の更生、回復共同体、修復的司法、ドラッグコート（薬物裁判所）など、暴力・犯罪に対するオルターナティブな向き合い方を映像化している。

永井愛さん（劇作家・演出家）
二兎社主宰。「言葉」や「習慣」「ジェンダー」「家族」「町」など、身辺や識下に潜む問題をすくい上げ、現実の生活に直結した、ライブ感覚あふれる劇作を続けている。

被災地から、そして新型コロナ禍のもとでの記録
「災禍をこえて」

充実の紙面！

2021年の『みんなのねがい』

発達保障を考え、伝え、つなげていく
「新・発達保障インタビュー」

写真で綴るあの時、この瞬間
「グラビア」
吉田亮人さん

あした授業で使いたくなる
「わたしの教材・教具」

これはなに？

障害児者にかかわる情勢を伝える「ニュースナビ」

この子と歩む

障害のある子と家族の物語

表紙は引き続き
フォトジャーナリスト
の安田菜津紀さん！

基礎知識から学ぶ
「障害と医療」

がんばらない子育て がんばらせない子育て

荷を分かっ まわりから…

子育てはまわりの視線と忠告との闘い。がんばっているのに「もっとこうしたら」と言われるとイタイ。そんな時は「こんなこと言われター！」と全部吐き出してしまうのみ。もしもあなたが聞き役になった時は、途中でアレコレはさまずに最後の一滴まで話してもらおう。
せっかくしゃべったのに、「こうしてみたら」と善意の忠告は無用だと肝に銘じて。

池添素（NPO法人　福祉広場）

マンガ：ナガノテツコ.

note 『みんなのねがい』で掲載された「がんばらない子育て　がんばらせない子育て」全12回を 編集部 note で公開中！→

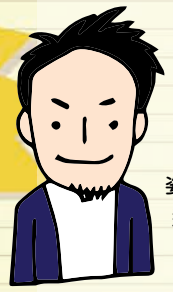
読者が語る！『みんなのねがい』の読みどころ

作業所、福祉現場で働く「あなた」へ
障害のある人と初めてかかわるとき、「どうかかわればいいの」と悩むのはあたりまえのこと。**「なぜ」と思ったときが『みんなのねがい』の読みドキ。**「障害」のこと、「発達」について、あなたの疑問に答えてくれます。働くあなた自身の「生活」や「働きがい」を大きく左右する「福祉のいま」を伝える障害福祉の現場になくてはならない一冊です。

作業所理事（肢体障害）・
松本誠司さん（高知）

放課後の子どもたちとかかわる「あなた」へ
読めば「実践のヒントがみつかるかも」「元気をもらえるよ」と聞くものの、「本」と聞くと大切だと思っていても一人ではなんとなく手が伸びない…。最初は私もその一人。でも、**みんなで読めば楽しく読めます！**『みんなのねがい』は**一人では気づけない様々なことを知るきっかけをつくってくれます。**

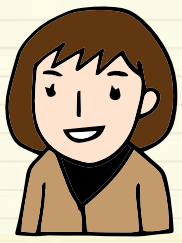
放課後等デイ職員・
谷延幸祐さん（鹿児島）



学校の子どもたちとかかわる「あなた」へ
「今日はあの子、どんなキモチだったのだろう？」。放課後、子どもの姿を思い出し自分の不甲斐なさに打ちひしがれる日々。そんなとき、職場の先輩に手渡されました。**子どものキモチをわかりたい！**そんな「ねがい」と、**もっと楽しく勉強したい！**という子どもの「ねがい」を形にするため、私は『みんなのねがい』を読んでいます。
教員・石田誠さん（京都）

note
編集部 note で特設ページを公開中です。続きは右記のQRコードからアクセスしてみてください！

乳幼児期の子どもたちとかかわる「あなた」へ
日々の忙しさの中、子どもたちの保育にうまくいかなくて落ち込んだり、悩んでいたりしていませんか？　目の前のかけがえのない子どもたちが、**より豊かに、よりしなやかに、発達の芽を伸ばしていけるようなヒントや学びの題材になる**のが『みんなのねがい』です。
保育士・
伊津佳恵さん（広島）



みんなのねがいを読む お父さん、お母さんの声

自閉症の次男も 27 歳になった。いろんなことがありながら、作業所に頑張って通っている。**彼が彼らしく毎日を過ごしてもらいたいと願いながら、父親としてどう関わったらいいのか、自問自答の日々**である。その時いつも僕のそばには『みんなのねがい』がある。目の前の彼だけではなく、内面で何を思っているのかを気づかせてくれる。制度がどんなに進んでも、障害のある子どもの親の悩みは尽きない。倉敷の地で『みんなのねがい』の仲間を広げていきたい。

田辺昭夫さん（倉敷市）

「やればできる」に必死だったわが子・登喜雄の小さい頃を思い出すと、今も胸が痛みます。障害児学級に移り担任の先生に**「お母さんは登喜雄君をどんな子に育てたいの？」と聞かれ、ハッとしたあの日。その先生に『みんなのねがい』をすすめられ、長い読者になりました。**わずか 3 人で立ち上げたサークルも、今は保護者を中心に教員、施設職員等 10 名に。サークルでの読者会は、なんでも本音で話すことができるかけがえのない場です。

小柳麻子さん（新潟市）

みんなのねがいを読むには裏面を Check!